

記載例										第2期東海市総合戦略 進行管理シート										資料2						
基本目標1:リニアインパクトを見据えた地域活性化										①基本目標を実現するための「基本的方向」を記載しています。																
基本的方向										④指標、具体的施策及び重要業績評価指標(KPI)、昨年度実施した主な事業の状況をもとに、成果動向を「順調」「横ばい」「順調でない」から選択している										⑤指標、具体的施策及び重要業績評価指標(KPI)、昨年度実施した主な事業の状況をもとに、基本目標に向けた取り組み状況や達成状況・今後の方向性を記載し						
令和9年(2027年)のリニア中央新幹線の東京・名古屋間の開通を見据え、国内外から多くの人が本市を訪れ、本市に関心を持つ環境を整備することで、まちのさらなるにぎわいを創出する。 新たな産業の創出と事業者の育成を支援するとともに、農商工業の活性化を促進する。										達成状況と今後の方向性																
指標[単位・方向性]		基準値(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)	基本目標全体の成果動向は「横ばい」と評価する。 指標「魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合」については、前年度と比較して微増し、目標値を達成した。「市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業」により、幅広い世代で市内店舗の利用を促進したと考える。 指標「1日当たりの鉄道駅乗降客数」については、基準値より低下しているものの前年度に比べて増加しており、目標値に近づいている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準に戻りつつあるのは、行動制限が大幅に緩和され、ビジネスや飲食等で鉄道利用が回復していると考ええる。 太田川駅西地区への大型の物流企業や商業店舗の進出が決定し、西知多道路の高規格化が進むなど、本市の立地ポテンシャルは着実に高まっている。今後も「ひかりの観光資源創出事業」や「工場夜景観光促進事業」などといった東海市らしさを生かした「にぎわい創出・交流人口の拡大」を図るとともに、かんきつ(夕焼け姫)の産地化・ブランド化の推進及び農業フェスティバル等イベントを通じて農産物をPRをするなど、本市の魅力向上と情報発信を行いながら、本市の更なる活性化につなげていく必要がある。																
魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合[%・↑]		42.9	44.4	43.9	44.4	44.3	45.0		45.0																	
1日当たりの鉄道駅乗降客数[人/日・↑]		54,077	42,679	45,210	48,566	51,189	52,780		54,500																	
-	具体的施策		業績評価指標(KPI)[単位・方向性]						目標値(R7)	R6に実施した主な事業																
			R4	R5	R6	R7				(只例：★=地方創生関係交付金充当事業)																
①	適正な土地利用計画の推進		市街化調整区域が整然としていると思う人の割合 [%・↑]						66.0																	
	地域特性に応じた土地利用を誘導し、良好な都市環境の形成により、まちの活性化と新たな雇用促進につなげる。 鉄道駅周辺では、それぞれの地区の特性に応じて、居住、商業、医療をはじめ、市民の生活を支える多様なサービス等の都市機能の充実により若者から高齢者までだれもが住みたい・訪れたいと思うまちづくりを進める。		61.5	63.5	62.1	63.6	64.0	67.0		(1)加太川河川敷利用促進事業 河川敷の活用を主体に、商業施設や観光資源の創出、住環境の改善性の高い住環境の形成を目指す。																
			鉄道駅の概ね1km圏内の人口 [人・↑]							(2)太田川河川敷利用促進事業 河川敷の活用を主体に、商業施設や観光資源の創出、住環境の改善性の高い住環境の形成を目指す。																
②	地域資源を生かしたにぎわいの創出		市内宿泊施設の宿泊者数 [人泊/年・↑]						197,000																	
	令和9年(2027年)のリニア中央新幹線の開通による社会・経済環境の変化を見据えつつ、中部国際空港を生かしたインバウンド等の観光推進に向けて、観光協会や近隣市町と連携を図り、工場夜景などの地域資源を生かした観光事業に積極的に取り組む。 市の玄関口である太田川駅周辺のイベント広場、芸術劇場、飲食店などの事業所の連携を深め、各施設間の回遊性の向上や魅力あるイベントを開催し、市民をはじめ、国内外からの観光客によるにぎわいを創出する。		176,814	159,680	223,693	249,025	251,696	287,289		(1)観光イルミネーション補助事業 多くの観光客を誘致するため、ふるさと大使の芦木浩隆氏プロデュースによるイルミネーションを太田川駅前広場で実施した。今後も魅力あるイルミネーションを実施し、観光客の誘致を図っていく。																
			1日当たりの名鉄太田川駅乗降客数 [人/日・↑]							(2)ひかりの観光資源創出事業 公園やイベントの魅力を高めるため、桜まつり、もみじまつりにてライトアップを実施するとともに、聚楽園大仏のライトアップも実施した。今後も各種イベントに合わせてライトアップ等を実施し、イベントなどの魅力を高めていく。																
③	商工業者への支援		市内事業所の従業者数 [人・↑]						17,200																	
	次世代産業の振興、企業の立地や中小企業等の再投資を促進するとともに、相談体制の充実や金銭的負担の軽減により新規創業を促す。また、事業所の経営基盤の強化や魅力ある商業店舗づくりを支援することで、雇用の創出及びまちのにぎわいづくりを図る。		16,754	17,394	17,327	17,298	16,867	19,812		(1)企業立地交付金 企業の立地を促進するため、市内に工場等の新設又は工場等若しくは償却資産の再投資をする企業に対して交付金を交付した(3件)。今後も制度のPR等を行い企業立地を推進していく。																
			主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合 [%・↑]							(2)創業支援事業 市内での新規創業を促進し、地域経済の発展を図るため、創業者支援セミナー(3日間)を開催した。また、創業希望者等に対しては、別途、創業相談(12回)を実施するなど、今後も創業に関するサポートを実施することにより、市内での新規創業を促進する。																
④	魅力ある農業の推進		市内の農産物に愛着を感じている人の割合 [%・↑]						87.0																	
	地域特産物を市内外へ広く発信し、消費者の認知度向上を図る取り組みにより、全国に通用する農作物を育成するとともに、新たな地域特産物の産地化・ブランド化に向けた取り組みを支援する。		85.4	86.1	86.3	87.7	84.2	76.0		(3)市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業★ 物価高騰の影響を受けた市民生活の応援及び市内小規模事業者を支援し、キャッシュレス化による商業活動を推進するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を行った。																
④			61.6	60.6	61.2	57.3	58.2	55.5	71.0																	
										(1)農業フェスティバル開催補助事業 東海市の農産物の品質向上及び生産意欲の高揚を図り、消費拡大を助長するとともに市民の農業に対する理解を深めるため、フキ、ナス、果実類の無料配布や本市の新たなブランド化を目指しているかんきつの新品種「夕焼け姫」の試食による農産物のPR活動を実施した。今後もこの事業を通じて、市内農産物のPRの拡大に努め、農業の魅力発信に取り組んでいく。																
										(2)東海フラワーショウ開催補助事業 東海市の花と緑を一堂に展示し、各品種の個性を再認識するとともに、栽培技術の向上を目指し、「らんのまち東海市」を市内外に広くPRするため、令和6年度は市制55周年記念事業として、希少種の花き類展示や洋ラン等の即売会を実施した。今後も、市内で生産される花卉類のPRに努めるとともに、イベントを通じて市内で生産された花きの消費拡大を図っていく。																
④																										
										(3)農業センター試験栽培トマト活用事業 農業センターの施設野菜試験栽培において収穫したトマトを活用し、「農業振興」「健康づくり」「観光交流」の3本を柱とした「トマト収穫祭」を実施した。また、令和6年度は市制55周年記念事業として「子ども野菜教室」を実施し、カゴメ株式会社や地元農業者の協力を得て、子どもたちに楽しみながら農業の役割や食の大切さを学ぶ場を提供した。今後も、イベントにおいてトマトを活用した健康づくりや観光事業との相互連携により施設の魅力向上を図っていく。																